

福島 古民家 まつぶ

社団法人福島県建築設計協会県北支部青年部

平成17年5月初版を複製



福島古民家散策の趣旨



私たち社団法人福島県建築設計協会県北支部青年部は、建築設計事務所・建設業関係の若い力溢れる団体です。福島市内を歩いていると、歴史ある建物や福島市を象徴する建物が少なくなってきた事に気づきませんか？どこことなく寂しい気持ちになりますね。福島市の歴史を感じられるとこが懐かしい、また、逆に新鮮な建物をご紹介します。城下町福島を少しでも感じて頂ければ幸いです。物を大事に使う事は大切なことですが、建物も一緒だと思います。古き良き時代の歴史を守っていくのが私たちに与えられた責務だと思うのです。

私たちは、歴史ある福島が大好きです。そして、私たちがこれからの福島をつくっていくのです。

最後になりましたが、ここに掲載のご協力を頂戴いたしました建主様はじめ関係者の皆様様に御礼を申し上げます。

かつて福島にあった取り壊された建物たち
この中で記憶に残っている建物がありますか？

あなたは知っていますか？かつての建物

みずほ銀行



写真の建物は大正2年に福島県農工銀行本店として建てられたそうです。写真ではわかりづらいですが壁は赤レンガで屋根は一部トームの形をしていてルネサンス様式風の建物ですね。昭和19年に勸業銀行に合併されて昭和50年に改築、現在のみずほ銀行福島支店に至ります。

福島警察署



写真の福島警察署は旧信太郎役所跡に昭和9年に建てられたものです。中央部分の細長い部分は福島市常備消防部の望楼で昭和14年に増築して造ったそうです。参考までに明治から昭和初期までは現在の市立図書館の敷地にあったそうです。

写真の日本銀行福島支店は大正2年に建てられたものです。
(写真は昭和30年当時) 福島支店は明治36年東北で最初の支店だそうです。商業の町であったとわかりますよね。昭和55年に改築する時には建物を残してほしいとの声が多かったそうです。

日本銀行福島支店



福島の顔といえは福島駅ですね。福島駅は戦後何度かその姿を変えて現在の形になったようです。明治40年当時の福島駅は東京駅に似た重厚な造りで洋風の館的な感じがしますね。

福島駅



明治7年に福島学校として建てられたそうです。現在の福島高校、福島大学教育学部、教育学部附属小学校の前身も一緒に設置されたそうです。福島市の教育の原点と言ってもいい場所でしょう。

福島第一小学校



旧板倉藩大仏城の跡地に明治13年初めて県庁ができました。写真は明治40年に改築された時のものです。明治当時を象徴するような洋風のおしゃれな建物ですね。

県庁

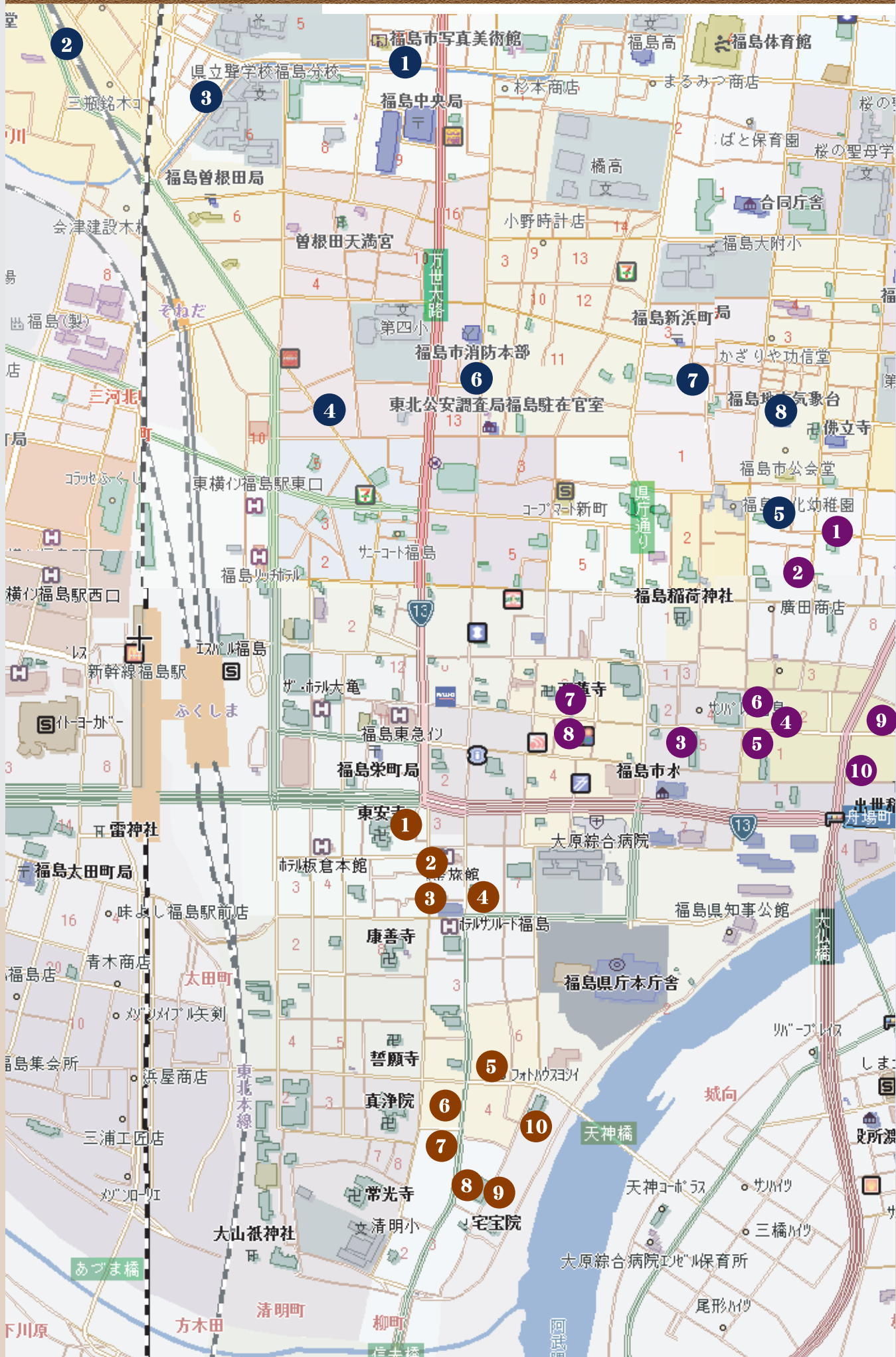


写真の建物は明治44年に県の物産館として建てられ、昭和4年に県立図書館になったそうです。場所は現在のもみじ山公園（県庁わき）にありました。昭和33年にこの建物は火災により焼失してしまったそうです。

県立図書館



今なお残る 福島のごき良き思い出



福島には、城下町として発展した歴史があります。みなさん、知っていましたか？現在の県庁の所にお城があって、板倉氏が長い間藩主としていらっしゃいました。実は、江戸時代の建物がまだ残っているんですよ。びっくりですね。

明治時代には信夫地方の養蚕の出荷の中心地としても発展しました。東北地方に初めて日本銀行の支店が開設されたのが福島だと、みなさん知っていましたか？それほど、養蚕が盛んだったんですね。そのレンガ造りの旧日本銀行福島支店を、約20年前に取り壊し、新しくしました。寂しいですね。福島には明治時代・大正時代の大きな建物はありません。昔の建物を次々と壊してきた街なのですね。

そんな福島にも昔のたたずまいを残す風情のある建物が残っているのを知っていますか？車を降りて細い路地を歩くと、そこには歴史を感じさせる建物が点在しています。そんな福島をこのマップを片手にお友達と歩いてみませんか？もっと面白い福島の街を見つける事が出来るかもしれません。



1
花の写真館
(福島市写真美術館)
美術館 福島市森合町

大正11年(1922)年に電気試験所福島試験所として開設された建物で、貴重な大正ロマンあふれる石造りの歴史的建造物です。館内には日本を代表する写真家秋山庄太郎氏(「花見山」を毎年春には撮影に訪れ、福島市と「花見山」の魅力を全国に発信した写真家)の作品を中心にした常時展示室と福島市民が写真展に活用できるフォトギャラリーが設けられています。



2
K様邸
住宅 福島市森合町

昭和14年に建てられました。奥行きのある住宅で板垣と門構えは当時このようにつくりが主流でした。住宅・門構え・板垣・庭のつくりバランスが取れています。住宅の典型的なつくりと言えます。



3
松屋商店様
店舗併用住宅
福島市仲間町

昭和初期の建築です。板垣が全盛の頃の建築です。この手法が当時は主流でしたが、防火地域の整備に伴い、近年ではあまり見られなくなりました。



4
S様邸
住宅 福島市新浜町

昭和4年に建てられました。昭和の終わりで下宿屋を営んでおり、県職員、教員などが住んでいました。看板の字が右から読むようになっているところが戦前の建物らしいですね。



1
岩沢質店様
店舗 福島市早稲町

城下町の風情を思わせる蔵造りの建物です。蔵なので、重量感ある建物です。お世話になった人も多いのでは？



3
旅館藤金様
旅館 福島市中町

一見蔵のようなたたずまいですが、実は旅館です。三間はあろうかと思う広々とした玄関から中へ入ると大きな柱時計があります。実に風情があります。



5
A様邸
住宅 店舗
福島市荒町

明治ロマンがあふれるモダンな石造りの建物です。実は昭和初期まで刑務所の施設として利用されていました。屋内は落ち着いた造りで、旧4号からは見えないうち庭もあります。



2
H様邸
住宅 福島市森合町

明治初期の建築です。元々は養蚕農家でした。写真からは分かりにくいですが、敷地がとて広く、門構えも大きく迫力があります。樹木も建物ともうまく調和しています。



4
S様邸
住宅 福島市天神町

大正時代に銀行として建設されました。昭和7年に銀行が閉鎖された後、病院として使用されました。現在は改修されて住宅となっています。



6
日本キリスト教団福島教会
礼拝堂 福島市宮下町

明治42年建設の教会建築です。木造による軸組と煉瓦造の壁体を混合した構造で、外観も変化に富んでいます。明治末から昭和にかけて数多くのキリスト教系建築を設計したヴォーリス(1880-1964)の最初に手がけた作品と言われています。この教会は、登録有形文化財(建造物)となっています。



8
O様・W様邸
住宅 福島市松木町

大正11年に建てられました。⑧と同じく板垣が全盛の頃の建物です。住戸が長屋形式になっています。増改築が何度か行われました。



2
安西園茶舗様
店舗 福島市中町

おもむきのある外観ですが、実は昭和20年代に建築されたお茶屋さんです。白塗り壁、瓦での作り込みに風情を感じます。



4
菊屋菓子舗様
店舗 福島市中町

明治30年創業のようかん作りの老舗として有名な菊屋さん。外観は蔵の様な造りで、店内も昔立ち寄った店を思い出させる雰囲気です。



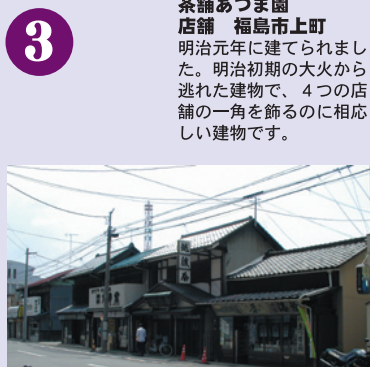
6
福島県銀行共同組合
福島県洋菓子協会様
事務所 福島市柳町

大正末から昭和初期ごろの洋風の建物です。西洋の文化が日本に入ってきた時代を感じさせます。



2
T様邸
住居 福島市仲間町

明治初期の建築です。福島の住宅としてスタンダードな姿を残す建物です。バランスも良く、意匠的にも優れています。



3
茶舗あづま園
店舗 福島市上町

明治元年に建てられました。明治初期の大火から逃れた建物で、4つの店舗の一角を飾るのに相応しい建物です。



5
S様邸
住居 福島市北町

昭和10年に建てられました。道路がわの一部を最近改築しましたが、屋根下まで板を張り上げたファサードは福島では現存するものが少なくなっています。バランスも良く、意匠的にも優れています。



7
竹屋旅館
旅館 福島市大町

竹屋旅館は当初、養蚕施設の土蔵として明治42年に建てられました。昭和22年5月、竹屋旅館として開業し、南土蔵・西土蔵ともに創建当時の和風建築の「蔵」と「土」をたたえています。また、大正ロマンと謳われた洋風の造作も客室に見ることができます。平成12年9月、文化庁の有形文化財として登録されました。



9
福島県教育会館
教育会館
福島市上浜町

昭和31年に建てられました。屏風(びょうぶ)を立てたような側壁。曲線がうねる屋根など、斬新な構造で、戦後の本県を代表する新建築物として知られています。設計を担当した大高正人氏は三春町出身。県立美術館や日本万国博覧会会場などの設計を担当し、日本を代表する建築家の一人名です。



7
すけ屋商店様
店舗 福島市柳町

江戸時代、文久3年の建設で、築140年を数えます。江戸時代の建物はしっかりとした建物が多いとあらためて関心しました。歴史の重みを感じることができる建物です。



9
肥料問屋塚屋様
倉庫 福島市柳町

赤レンガ造りの塀が明治時代のおもむきを感じさせてくれます。奥にもう一軒蔵があり、肥料の倉庫として使用しています。



2
T様邸
住居 福島市仲間町

明治初期の建築です。福島の住宅としてスタンダードな姿を残す建物です。バランスも良く、意匠的にも優れています。



(有) 名倉屋
店舗 福島市北町

明治中期の建築です。明治初期の大火後に建てられた建物で、格子や雨戸の戸袋などに優れた意匠が見られます。



6
O様 蔵
倉庫 福島市北町

明治元年に建てられました。保存状態が良く、古より受け継がれた日本の蔵の建築技術の中に、強固さや機能性をあわせ持っています。現代に語り継ぐのに相応しい建物です。



安済ビル
テナントビル
福島市北町

大正ロマンを偲ばせる昭和初期の洋風の建築物です。当時の街並みを偲ばせる雰囲気を持った建物で、かつての市内の繁栄を物語っています。



県倉庫
倉庫 福島市市場町

近年では珍しい赤レンガを使った倉庫で、堂々とした風格が感じられます。古き良き時代のゆくりとした時の流れに思いを馳せることができる建物です。建築時期は不明です。



8
肥料問屋塚屋様
事務所 福島市柳町

木格子の木造建築の風情が感じられる明治末ごろの建物です。敷地は細長い形状なので、旧4号線から東の道路まで歩くに結構距離があります。



日本銀行旧支店長宅
福島市柳町

昭和2年に日本銀行福島支店の役宅として建築され、その後福島市が取得しました。現在市民の交流場所として開放しています。建物の大きさ開閉の多さにも驚きますが、現在の住宅では見えない建築材料が贅沢に使われています。また窓からの庭の眺めも見の価値があります。

※花の写真館、日本銀行旧支店長宅を除き非公開となっておりますのでご注意ください。